1. 安全のために必ず守ること

MITSUBISHI

三菱ユニットクーラ(UCH・UCL・UCR形)

工事説明書

UCH-08VNC
UCH-1VNC
UCH-1.6VNC
UCH-2VNC
UCH-3VNC

UCL-08VHC
UCL-1VHC
UCL-1.6VHC
UCL-2VHC
UCL-3VHC

UCR-Z1VHC
UCR-Z1.6VH(
UCR-Z2VHC
UCR-Z3VHC

目次

1. 安全のために必ず守ること……1
2. 使用上のご注意……2
3. 各部の名称……3
4. ご使用の前に……3
5. 据付場所・据付方法について…4
6. 電気配線……6
7. 試運転時のご注意……10
8. お手入れのしかた……11
9. 保守点検について……12
10. ようすがおかしいとき……14
11. 保証条件・アフターサービス…17
12. 仕様……18

ご使用の前に必ずこの「工事説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとは大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたときお役に立ちます。

1. 安全のために必ず守ること

●ご使用の前に，この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。
●ここに示した注意事項は，安全に関する重大な内容を記載しています。あなたや他の人びとへの危害や損害を未然に防止するためのものですので必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに，死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性がおおきいもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

●据え付け工事完了後，試運転を行ない異常がないことを確認するとともに，取扱説明書にそってお客様に使用方法，お手入れの仕方を説明してください。また，この工事説明書は，取扱説明書と共にお客様で保管頂くように依頼してください。

⚠警告

据付けは，工事説明書にしたがって確実に行う。
●据付けに不備があると，冷媒漏れや火災・感電・水漏れの原因になります。

電気工事業者による第3種接地工事を確実に行う。
●アースが不完全な場合は感電の原因になります。

配線は，所定の電線を使用して確実に接続し，端子台接続部に接続電線の外力が，伝わらないように確実に固定する。
●接続や固定に不備があると，発熱・火災の原因になります。

水のかかるおそれのある場所には据付けない。
●水がかかると，発火や感電の原因になります。

安全装置の設定値変更はしない。
●設定値を変えると，ユニットの破裂･発火の原因となります。

冷媒漏れ時の限界濃度対策は確実に。
●屋内や冷蔵庫へ据付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
限界濃度を超えない対策については，弊社代理店と相談して据付けてください。万一冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

気密試験は確実に行う。
●冷媒が漏れると，酸素欠乏の原因になります。

据付けは，重量に十分耐える所に確実に行う。
●強度の不十分な所に据付けると，ユニットが転倒・落下により，ケガの原因になります。

電気工事は，「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」を遵守し，工事説明書にしたがって施工し，必ず専用回路を使用する。
●電源回路容量不足や施工不備があると，火災・感電の原因になります。

ユニットの端子台カバー（パネル）を確実に取付ける。
●端子台カバー（パネル）の取付けに不備があると，端子接続部の発熱・火災や感電の原因になります。

冷凍サイクル内に指定冷媒以外の冷媒や空気などを混入させない。
●混入すると冷凍サイクルが異常高圧となり破裂・ケガの原因になります。

冷媒サービス時は換気を十分行なう。
●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気してください。冷媒ガスが火気に触れると，有毒ガスが発生する原因になります。

冷媒ガスの漏れチェックは確実に。
●設置工事終了後，冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが機械室内や冷蔵庫内に漏れ火気に触れると，有毒ガスが発生する原因になります。

⚠注意

漏電遮断器を取付ける。
●漏電遮断器が取付けられていないと，感電の原因になることがあります。

排水工事を確実に行う。
●除霜水などが屋内に浸水し，周囲を濡らす原因になることがあります。

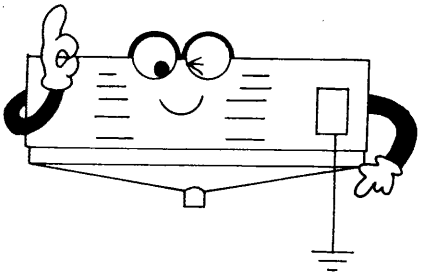
仕様の範囲内で冷凍サイクルを製作する。
●仕様を逸脱して冷凍サイクルを作ると，破裂・発煙・発火・漏電の原因になることがあります。

可燃性ガスの漏れるおそれがある場所には据付けない。
●万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると，発火の原因になることがあります。

2. 使用上のご注意

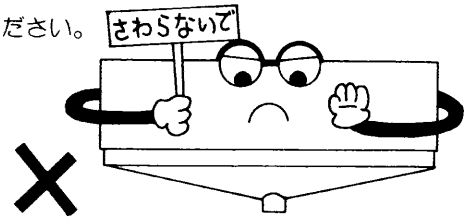
■設置状態を確認してください。

●安全のため，アース端子から確実にアースが取付けられているか，確認してください。



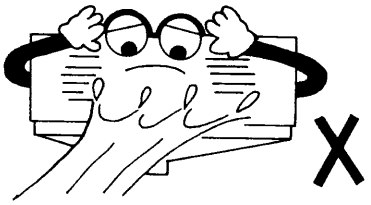
■ユニットのファン・ファンガードに直接手を触れないようにしてください。

●特に除霜運転の後ユニットは，停止しているファンが突然回転することがありますので電源を切ってから点検してください。



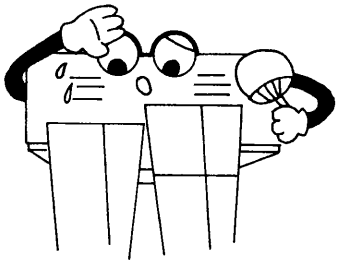
■ユニットに水をかけないでください。

●漏電のおそれがあります。



■空気の循環をよくする

●ユニットクーラーの冷気吸込口や冷気吹出口の前に商品を置かないでください。



■腐食性雰囲気では使用しないでください。

●酢漬など酸性の食品や塩分を含む食品は，密閉容器に入れてください。密閉されていない場合，冷却器が腐食し故障の原因となります。また，腐敗物がありますと，アンモニアなどの腐食性ガスが発生しますので，腐敗物を放置しないでください。

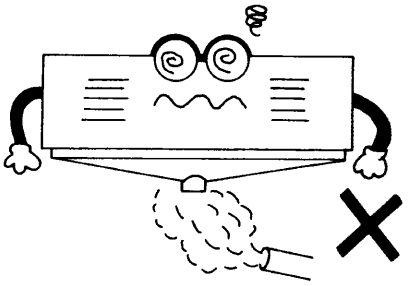
●ユニットクーラの冷気吸込口や冷器吹出口の前に商品を置かないでください。

■危険物は貯蔵しないでください。

●エーテル・ベンジンなど揮発性・引火性の薬品や爆発物を貯蔵しないでください。引火の危険があります。また，ラッカーペイント等の強燃性スプレーをユニットの付近で使用しないでください。

■加湿器を冷気吸込口の近くに置かないでください。

●加湿器を設ける場合は，加湿器の蒸気が直接ユニットに吸い込まれないように設置してください。蒸気を直接吸い込むと送風機の故障の原因となります。また湿度は90%RH以下でご使用願います。



なお加湿器を使用する場合は，霜付きが早くなりますので霜取りの間隔を見直してください。

■凍結の目的では使用しないでください。（UCR-ZVHC形ユニットの場合）

●冷凍用は凍結された商品を保存するためで凍結の目的では使用しないでください。

■適正な庫内温度で使用してください。

●ユニットは使用庫内温度により3タイプに分かれています。使用温度に合わせて適切な機種をご使用ください。

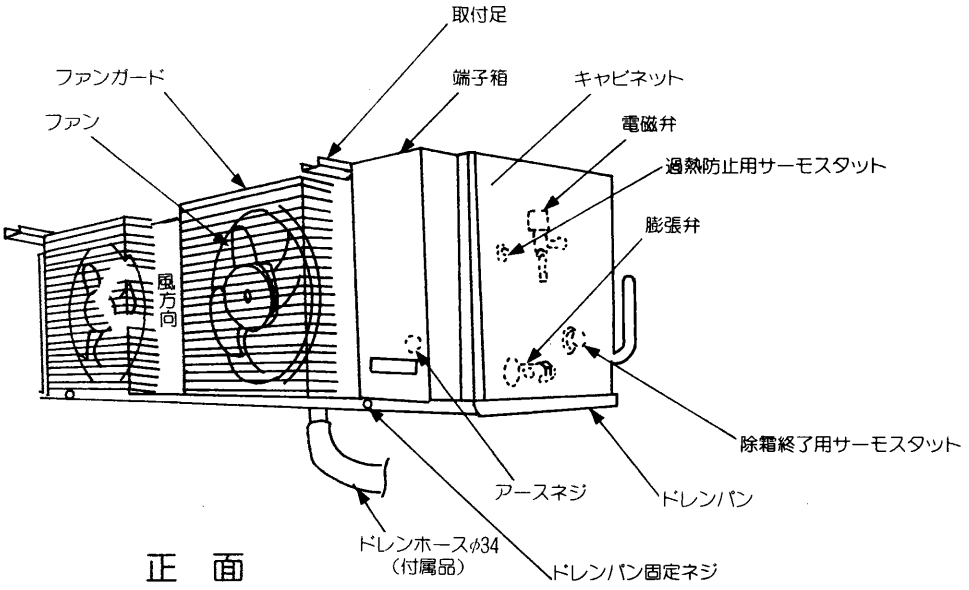
使用温度（庫内温度）

+3℃～+15℃ UCH-VNC形オフサイクル除霜
−5℃～+15℃ UCL-VHC形ヒータ除霜
−25℃～−5℃ UCL-ZVHC形ヒータ除霜

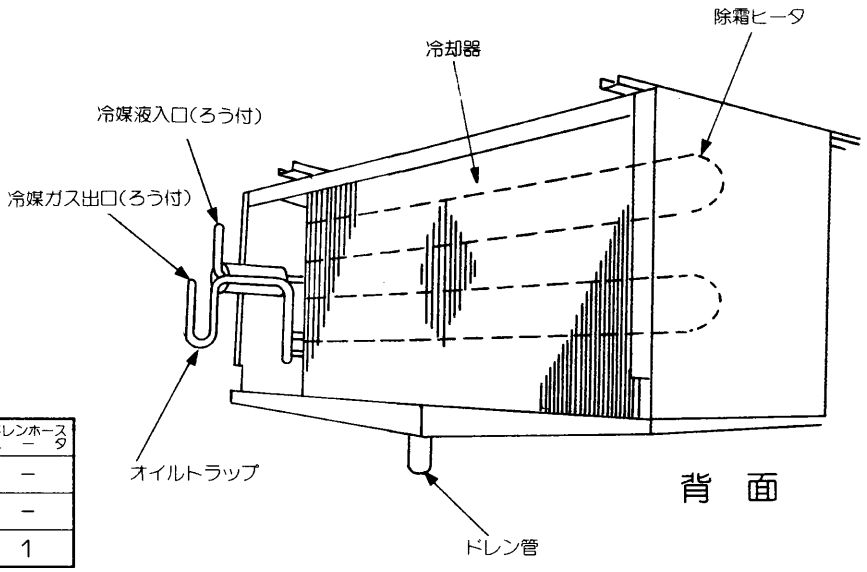
■冷蔵庫の扉を開けたままにしないでください。

●ユニットへの着霜が多くなり，残霜・不冷となるおそれがあります。

3. 各部の名称



正　面



背　面

付属品

形　　名	ドレンホース	ドレンホースバンド	ドレンホースヒータ
UCH-VNC形	1	2	−
UCL-VHC形	1	2	−
UCR-ZVHC形	1	2	1

4. ご使用の前に

■ファンの回転を確認してください。

輸送のための包装やテープをはずし，ファンが支障なく回転するか手で回して確認してください。

■ユニット内のガスを確認してください。

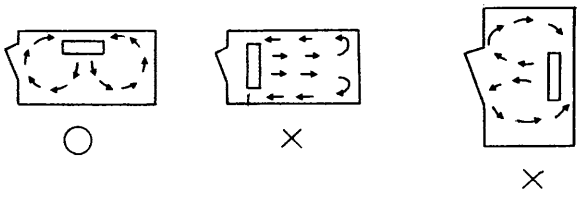
ユニットの冷媒入口，出口パイプには栓がありますので，これを取りはずし内部に充てんしてあるガスを抜いてください。出荷時にじゅうぶん検査を行なってはいますが，もし，ガスが充てんしていない場合は，ガスリークが考えられますので，ガスリークテストを行なってください。

5. 据付場所・据付方法について

据付場所

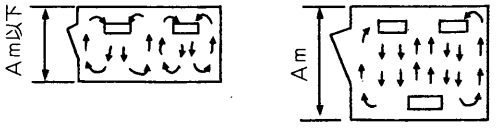
着霜が少ない場所への据付

ユニットクーラを冷蔵庫の扉の近くに設置すると扉の開閉時に外気の暖かい湿った空気を吸い込み，冷却器への着霜が増し，冷却能力低下や送風機ファンの氷結の原因になりますのでユニットクーラと扉の距離はできるだけ離すようにしてください。



冷風が到達するような据付

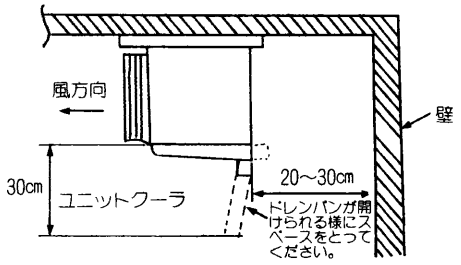
冷蔵庫間口寸法が下表以下の場合には，ユニットクーラを片側方向に並べて取付けてください。下表を超える場合には両側に向い合わせて取り付けてください。



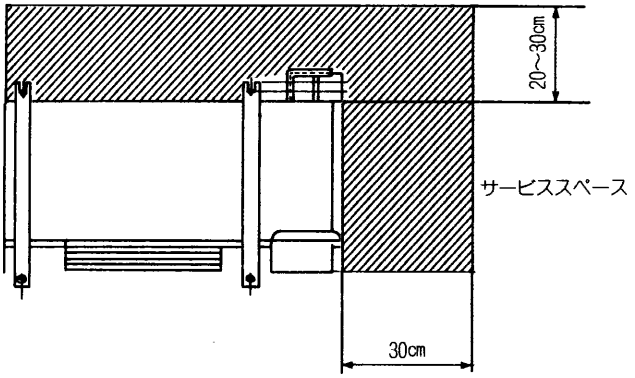
	UCH-0.8VNC形 UCL-0.8VHC形 UCR-Z1VHC形	UCH-1VNC形 UCL-1VHC形 UCR-Z1.6VHC形	UCH-1.6VNC形 UCL-1.6VHC形 UCR-Z2VHC形	UCH-2VNC形 UCL-2VHC形 UCR-Z3VHC形	UCH-3VNC形 UCL-3VHC形
A	1.8/2.7	2.7/3.5	2.7/3.5	4.5/5.3	5.4/7.0

通風・サービススペースの確保

本体は冷却器裏面が壁面に向くよう取付け，空気の循環，取付工事やサービス等を考えて裏面と壁面には20～30cmの間隔をあけてください。



サービススペースとして下図のように間隔をあけてください。

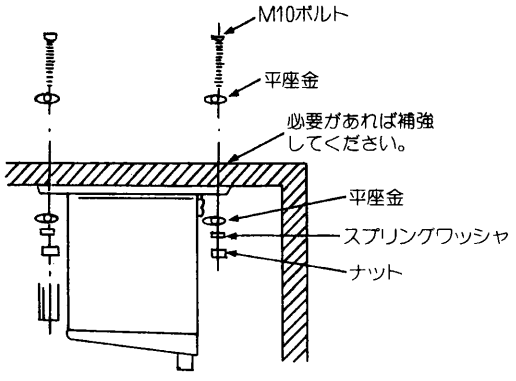


据付方法

据付部の強度は十分に

天井に取付穴φ12mmをあけM10ボルトを通して下側からナットでユニットクーラを固定してください。

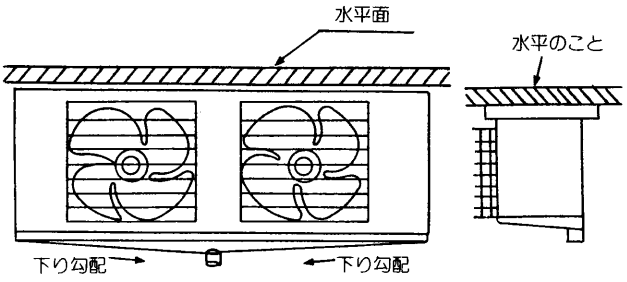
天井が弱い場合には，取付部に補強材を入れてください。



排水性の確認

排水を良くするため，普通に取付けるとドレンパンに傾斜が付くようになっています。

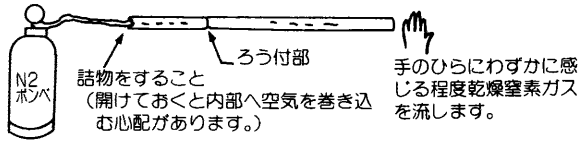
取付後，水を流して水はけを確認してください。またドレンパン前後の水平も水準器をあてて確めてください。



冷 媒 配 管

ろう付時の不活性ガス使用

ろう付時には酸化スケールが生成しないように乾燥窒素ガスなどの不活性ガスを配管に通しながら行なってください。



ろう付時の炎注意

ろう付時に，炎が膨張弁感温筒用断熱材に当らないようスレート板などで保護してください。

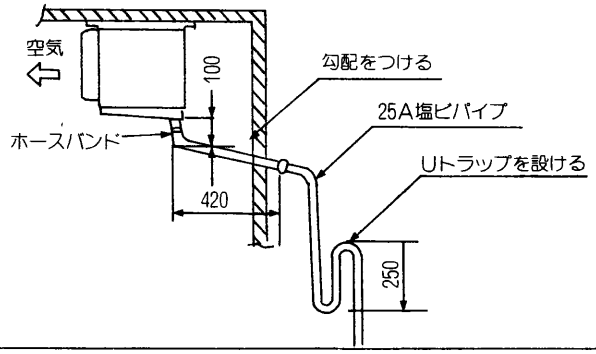
ドレン配管

ドレンホースの取付について

(1) 付属のドレンホースをホースバンドで固定してください。

(2) ドレンホースは必ず10°以上の下り勾配を設けてください。

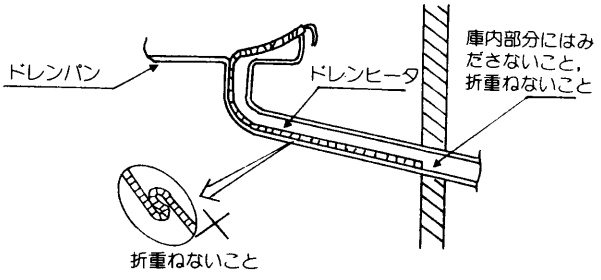
(3) ドレンホースは，庫外に導いた後Uトラップを設け，外気の侵入を防ぎます。
トラップの高さは250㎜位にしてください。

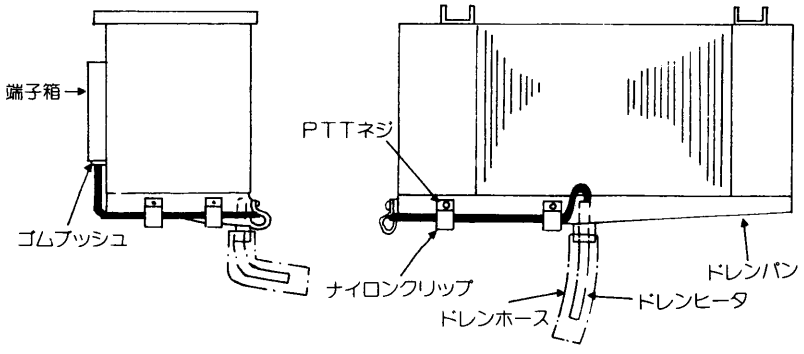


ドレンホースヒータの取付について

(1) 付属のドレンホースにヒータを取付けます（UCRタイプのみ）ヒータはドレンホースの庫内部分のみとし庫外部分にはみださないよう注意してください。

(2) ドレンヒータは常時通電とし，シリコンベルトヒータを折重ねないようホースに挿入してください。折重ねて使用しますと，ヒータが断線するおそれがあります。





(3)ドレンホース内にドレンホースヒータを配置して，リード線は左図のように吸込側と右側面のドレンパン外周部にあいているタッピングネジ下穴を用い付属のナイロンクリップとネジで固定します。

(4)端子箱のゴムブッシュ部よりリード線を内部に引込み端子台へ配線します。

6. 電気配線

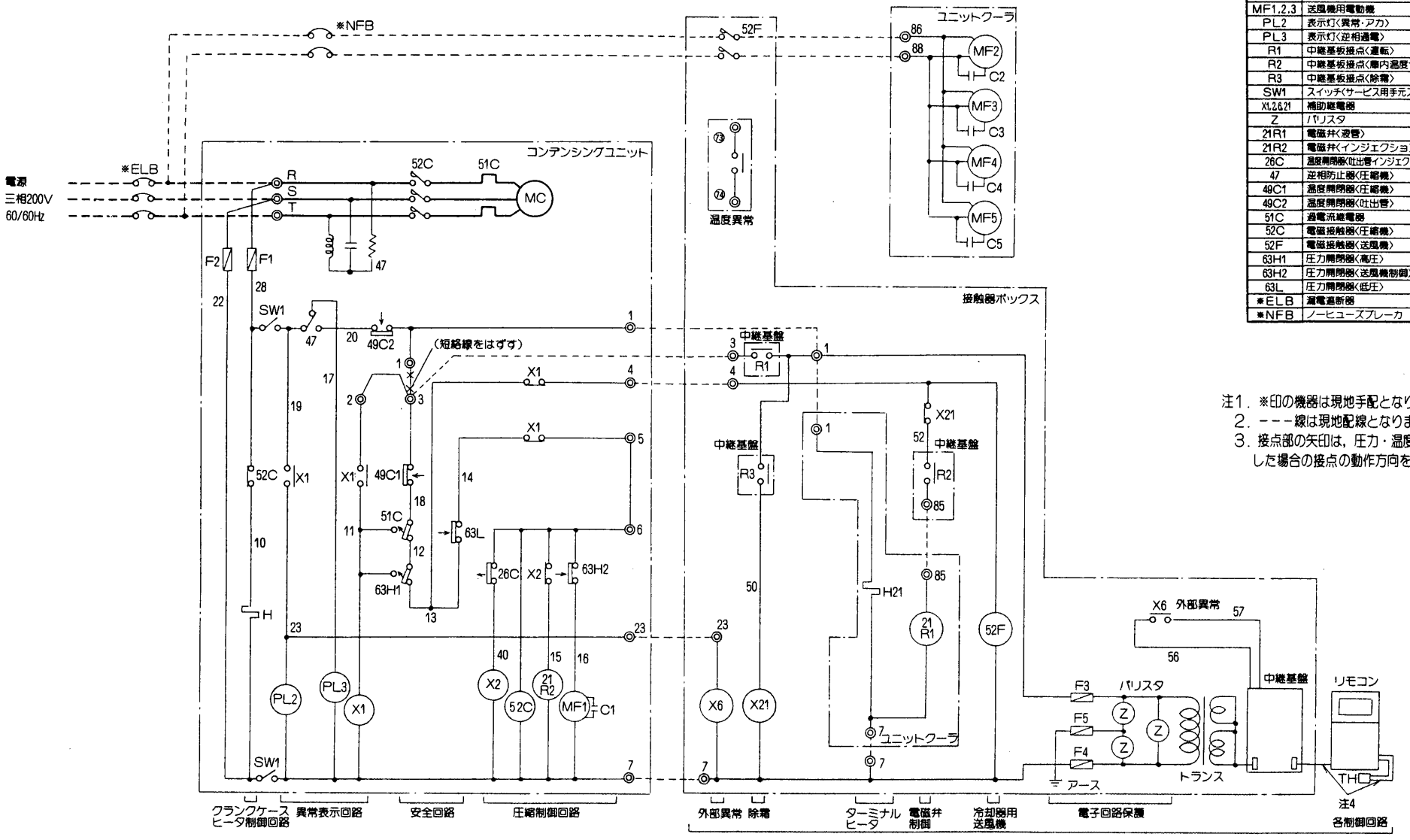
(1) UCH-VNC形

① スタンダードリモコン使用例

コントローラ：RBH-20NSB形

記号説明

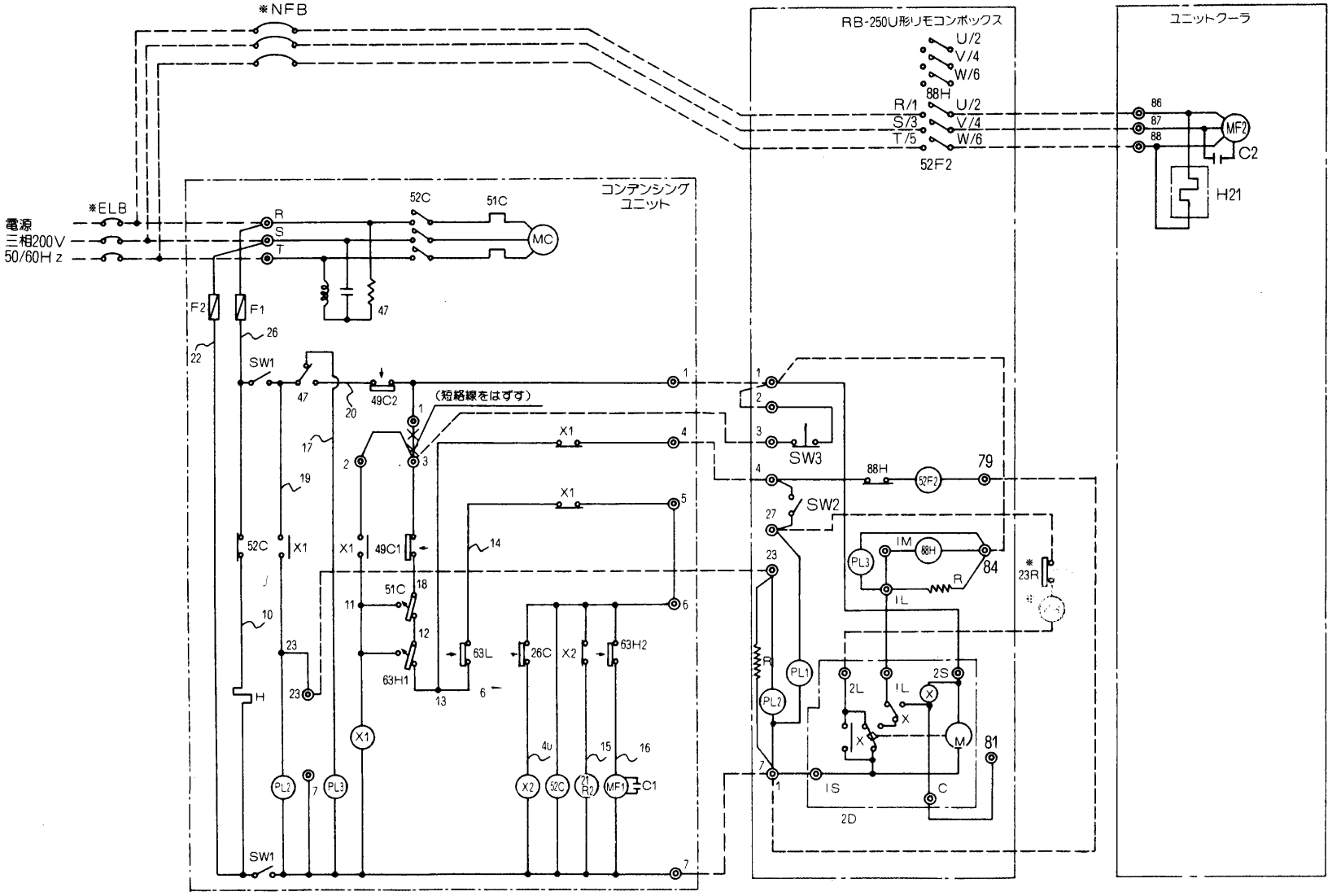
記号	名称
C1,2,3	コンデンサ
F1,2	ヒューズ〈5A〉
F3,4	ヒューズ〈1A〉
F5	ヒューズ〈3A〉
H	電熱器〈クランクケース〉
H21	電熱器〈端子箱〉
MC	圧縮機用電動機
MF1,2,3	送風機用電動機
PL2	表示灯〈異常・アカ〉
PL3	表示灯〈逆相過電〉
R1	中継基板接点〈運転〉
R2	中継基板接点〈庫内温度サーモ〉
R3	中継基板接点〈除霜〉
SW1	スイッチ〈サービス用手元スイッチ〉
X1,2&21	補助継電器
Z	バリスタ
21R1	電磁弁〈液管〉
21R2	電磁弁〈インジェクション用〉
26C	温度開閉器〈吐出管インジェクション用〉
47	逆相防止器〈圧縮機〉
49C1	温度開閉器〈圧縮機〉
49C2	温度開閉器〈吐出管〉
51C	過電流継電器
52C	電磁接触器〈圧縮機〉
52F	電磁接触器〈送風機〉
63H1	圧力開閉器〈高圧〉
63H2	圧力開閉器〈送風機制御〉
63L	圧力開閉器〈低圧〉
※ELB	漏電遮断器
※NFB	ノーヒューズブレーカ



注1．※印の機器は現地手配となります。
2．－－－線は現地配線となります。
3．接点部の矢印は，圧力・温度が上昇した場合の接点の動作方向を示します。

② 別売部品 RB-250U形リモコンボックス使用例
リモコンボックス：RB-250U形

注1．※印の機器は現地手配となります。
2．------線は現地配線となります。
3．接点部の矢印は，圧力温度が上昇または圧力差が増大した場合の接点の動作方向を示します。



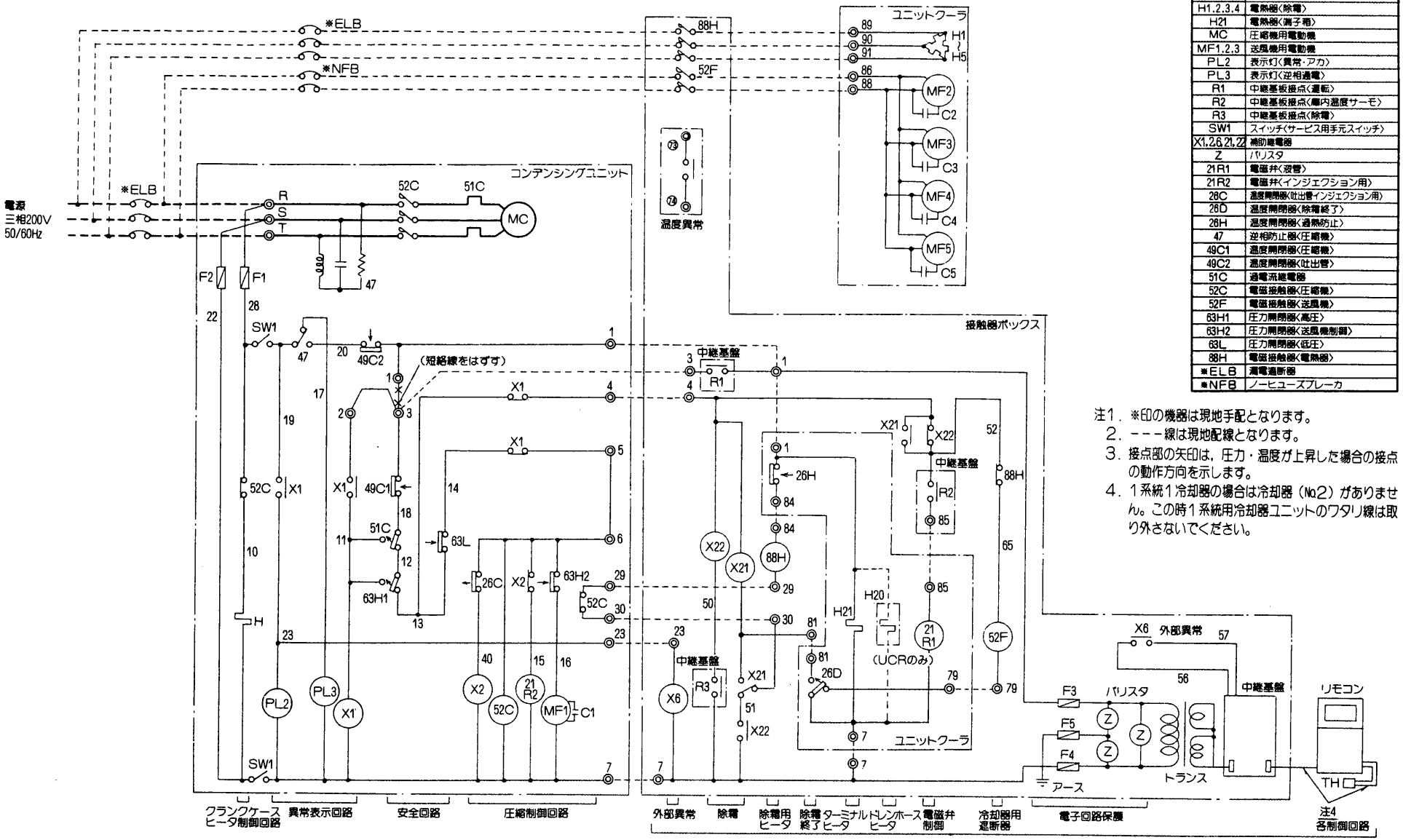
記号説明

記号	名称
C1.2	コンデンサ
F1.2	ヒューズ〈5A〉
H	電熱器〈クランクケース〉
H21	電熱器〈端子箱〉
MC	圧縮機用電動機
MF1.2	送風機用電動機
PL2	表示灯〈異常・アカ〉
PL3	表示灯〈逆相通電〉
PL1	表示灯〈運転・ミドリ〉
PL2	表示灯〈異常・アカ〉
PL3	表示灯〈除霜・オレンジ〉
R	抵抗
SW1	スイッチ〈サービス用手元スイッチ〉
SW2	スイッチ〈運転－停止(ポンプダウン)〉
SW3	スイッチ〈異常リセット〉
X1.2	補助継電器
2D	タイムスイッチ〈除霜〉
21R	電磁弁〈液管〉
21R2	電磁弁〈インジェクション用〉
23R	温度調節器〈庫内〉
26C	温度開閉器〈吐出管インジェクション用〉
47	逆相防止器〈圧縮機〉
49C1	温度開閉器〈圧縮機〉
49C2	温度開閉器〈吐出管〉
51C	過電流継電器
52C	電磁接触器〈圧縮機〉
52F2	電磁接触器〈送風機〉
63H1	圧力開閉器〈高圧〉
63H2	圧力開閉器〈送風機制御〉
63L	圧力開閉器〈低圧〉
88H	電磁接触器〈電熱器〉
※ELB	漏電遮断器
※NFB	ノーヒューズブレーカ

⑵UCL・R-VHC形

① スタンダードリモコン使用例

コントローラ：RBL-8HSB形
RBR-6HSB形

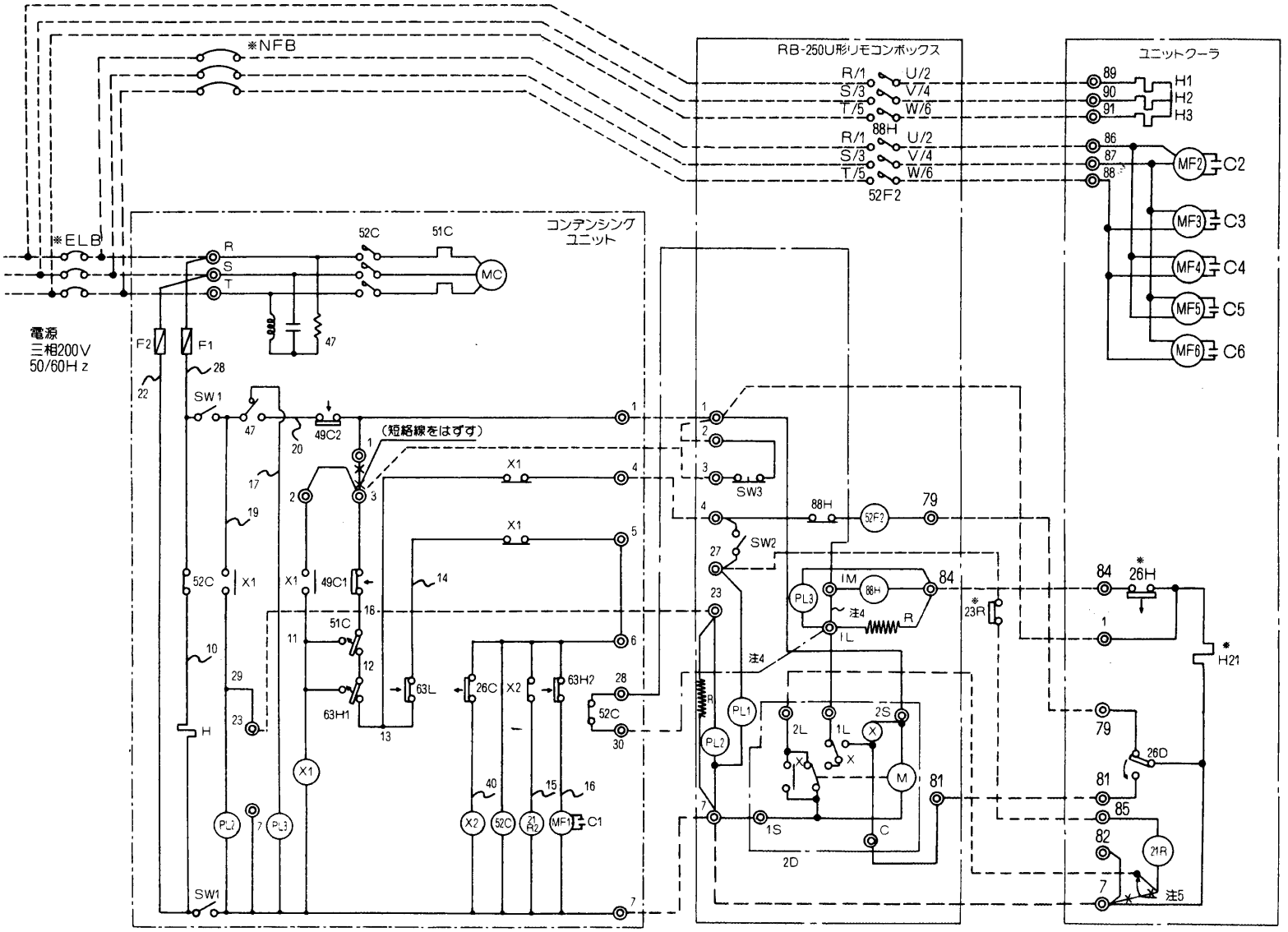


記号説明

記号	名称
C1,2,3	コンデンサ
F1,2	ヒューズ〈5A〉
F3,4	ヒューズ〈1A〉
F5	ヒューズ〈3A〉
H	電熱器〈クランクケース〉
H1,2,3,4	電熱器〈除霜〉
H21	電熱器〈端子箱〉
MC	圧縮機用電動機
MF1,2,3	送風機用電動機
PL2	表示灯〈異常・アカ〉
PL3	表示灯〈逆相過電〉
R1	中継基板接点〈運転〉
R2	中継基板接点〈庫内温度サーモ〉
R3	中継基板接点〈除霜〉
SW1	スイッチ〈サービス用手元スイッチ〉
X1,2,6,21,22	補助継電器
Z	バリスタ
21R1	電磁弁〈液管〉
21R2	電磁弁〈インジェクション用〉
26C	温度開閉器〈吐出管インジェクション用〉
26D	温度開閉器〈除霜終了〉
26H	温度開閉器〈過熱防止〉
47	逆相防止器〈圧縮機〉
49C1	温度開閉器〈圧縮機〉
49C2	温度開閉器〈吐出管〉
51C	過電流継電器
52C	電磁接触器〈圧縮機〉
52F	電磁接触器〈送風機〉
63H1	圧力開閉器〈高圧〉
63H2	圧力開閉器〈送風機制御〉
63L	圧力開閉器〈低圧〉
88H	電磁接触器〈電熱器〉
※ELB	漏電遮断器
※NFB	ノーヒューズブレーカ

注1．※印の機器は現地手配となります。
2．－－－線は現地配線となります。
3．接点部の矢印は，圧力・温度が上昇した場合の接点の動作方向を示します。
4．1系統1冷却器の場合は冷却器（№2）がありません。この時1系統用冷却器ユニットのワタリ線は取り外さないでください。

② 別売部品 RB-250U形リモコンボックス使用例
リモコンボックス：RB-250U形



注1．※印の機器は現地手配となります。
2．……線は現地配線となります。
3．接点部の矢印は，圧力温度が上昇または圧力差が増大した場合の接点の動作方向を示します。
4．圧縮機と除霜用電熱器の同時通電を防止する場合は，リモコンボックス内のIM-IL間の渡り線を外し，室外機の電磁接触器（52C）の接点を下記のように結線してください。

29-IM
30-IL （図中……線）

記号説明

記号	名称
C1～C6	コンデンサ
F1·2	ヒューズ〈5A〉
H	電熱器〈クランクケース〉
H1·2·3	電熱器〈除霜〉
H21	電熱器〈端子箱〉
MC	圧縮機用電動機
MF1～6	送風機用電動機
PL2	表示灯〈異常・アカ〉
PL3	表示灯〈逆相過電〉
PL1	表示灯〈運転・ミドリ〉
PL2	表示灯〈異常・アカ〉
PL3	表示灯〈除霜・オレンジ〉
R	抵抗
SW1	スイッチ〈サービス用手元スイッチ〉
SW2	スイッチ〈運転－停止(ポンプダウン)〉
SW3	スイッチ〈異常リセット〉
X1·2	補助継電器
2D	タイムスイッチ〈除霜〉
21R	電磁弁〈液管〉
21R2	電磁弁〈インジェクション用〉
23R	温度調節器〈庫内〉
26C	温度開閉器〈吐出管インジェクション用〉
26D	温度開閉器〈除霜終了〉
26H	温度開閉器〈過熱防止〉
47	逆相防止器〈圧縮機〉
49C1	温度開閉器〈圧縮機〉
49C2	温度開閉器〈吐出管〉
51C	過電流継電器
52C	電磁接触器〈圧縮機〉
52F2	電磁接触器〈送風機〉
63H1	圧力開閉器〈高圧〉
63H2	圧力開閉器〈送風機制御〉
63L	圧力開閉器〈低圧〉
88H	電磁接触器〈電熱器〉
ELB	漏電遮断器
NFB	ノーヒューズブレーカ

5．端子台⑦番より電磁弁の青色線（ワイヤーマーク白）を取外しタイムスイッチ(2D)の端子2Lからの配線と接続してください。

7. 試運転時のご注意

膨張弁の調整

膨張弁は製品出荷時調整済みですが，万一，圧縮機の吸入ガス管温度が下表の範囲を越えている場合は下記の要領で膨張弁を調整してください。

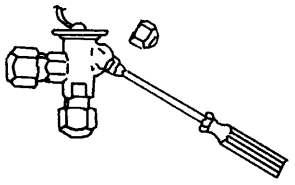
〈各部温度の目安〉

機種		UCL形	UCH形･UCL形	UCR形
使用冷媒		R22		
庫内温度		0	5	−20
凝縮温度(℃)		45		
蒸発温度(℃)		−10	−5	−30
各部温度の目安	①吸入ガス管(℃)	0〜10	+5〜+15	−20〜−10
	②吐出ガス管(℃)	90〜115		

注1．電源　三相200V 50/60Hz
　2．外気温度　20〜35℃

〈膨張弁の調整の仕方〉

膨張弁のスーパーヒートは右図で示すように調整スピンドルを廻すことにより増減ができます。



機種	膨張弁形名	工場出荷時の設定値(静止スーパーヒート)deg℃	調整スピンドル1回転当りのスーパーヒートの変化量 deg℃
UCH-08VNC形 UCL-08VHC形	TX2-0.3Nレンジ ダンフォス	3	4
UCH-1VNC形 UCL-1VHC形	TX2-0.7NMレンジ ダンフォス		
UCH-1.6VNC形 UCL-1.6VHC形	TX2-0.7NMレンジ ダンフォス		
UCH-2VNC形 UCL-2VHC形	TEX2-1.0NMレンジ ダンフォス		
UCH-3VNC形 UCL-3VHC形	TEX2-1.0NMレンジ ダンフォス		
UCR-Z1VHC形	TX2-0.3NMレンジ ダンフォス		
UCR-Z1.6VHC形	TX2-0.7NMレンジ ダンフォス		
UCR-Z2VHC形	TEX2-0.7NMレンジ ダンフォス		
UCR-Z3VHC形	TEX2-0.7NMレンジ ダンフォス		

時計方向(右回転)に廻すと……
……スーパーヒートは増加します。
反時計方向(左回転)に廻すと……
……スーパーヒートは減少します。

注1．膨張弁の調整は，むやみに調整せず，時間をかけて安定させながら調整してください。
　2．適正な運転状態が得られない場合は，冷媒チャージ量，配管工事および感温筒の取付方法などが適正か見直してください。

8. お手入れのしかた

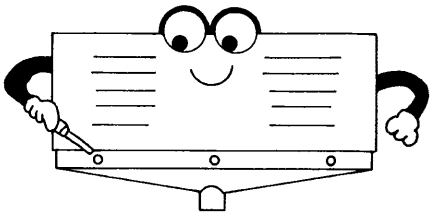
- 安全のため，お手入れの前に必ず電源スイッチを切ってください。
- 端子箱やファンモータには，絶対に水をかけないでください。
  故障（とくに漏電）の原因となります。
- シンナー・ベンジン・ミガキ粉などは，製品を傷めますので使わないでください。

キャビネット

- 乾いた柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは，中性洗剤をとかしたぬるま湯か水を柔らかい布にふくませて拭き，その後ぬれた布で洗剤が残らないようによく拭きとってください。

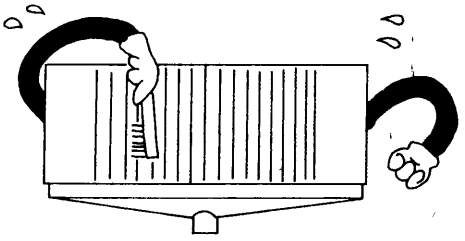
ドレンパン

- ドレンパンの開けかた — ドレンパン固定ネジを外してください。
- 清掃のしかた — 布で内側のよごれを拭きとってください。



冷　却　器

- フィンを傷めないように目にそってハケ・ブラシなどで清掃してください。
- フィンで手を切らないように手袋をしてください。



9. 保守点検について

ファンモータ

ファンモータが故障した場合は次の方法で交換してください。

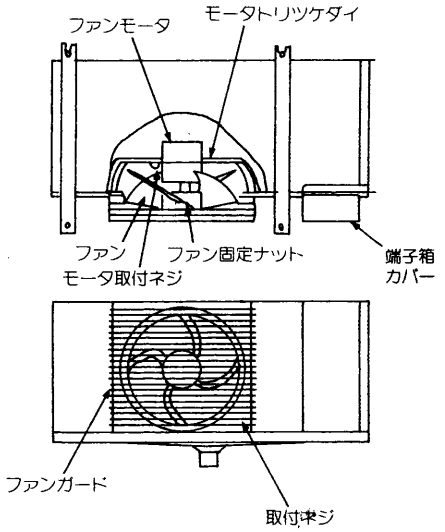
①ファンガード取付ネジ(M4)4本を取外し，ファンガードを取外します。

②ファンガードを取外した後，ファン固定ナットをゆるめ，ファンをモータから取外します。

③端子箱カバーを取外し，モータの配線を端子台から抜き取ります。

④モータ取付ネジ(M4)4本を取外し，モータをモータトリツケダイより外します。
この時，モータのリード線もモータといっしょに抜き出してください。

⑤モータ交換の後は，上記の逆の順序で組立ててください。
(注，ネジ部にはネジロック剤を塗布してください。)



除霜ヒータ

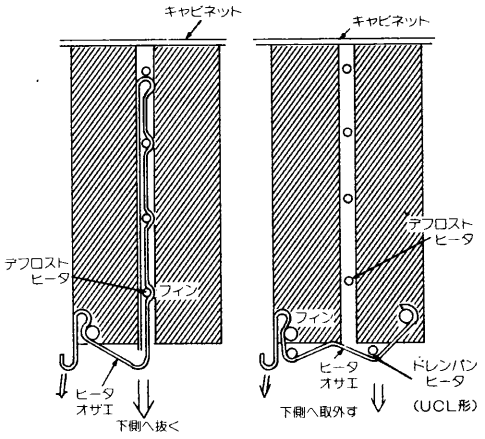
■除霜ヒータが故障した場合は，次の方法で交換してください。

①ドレンパンの取付ネジ(前面の2本)を取外し，ドレンパンを開けてください。

②交換する除霜ヒータに取付けられているヒータオサエをペンチを用いて外します。(デフロストヒータの場合は，すべてのヒータオサエを取外してください。)

③ヒータの配線を端子台から抜き取ります。

④ヒータを下側に取り外して新品と交換します。この際ヒータのリード線の余分な部分が他の機器と接触しないように注意してください。



■ ドレンパンヒータ(ドレンパン取付：UCR形)の場合

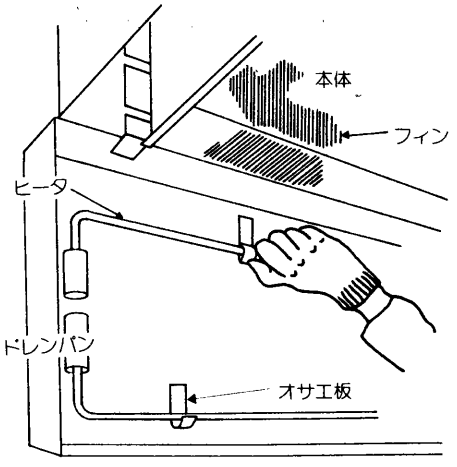
①ドレンパンの固定ネジ(前面)を取外し，ドレンパンを開けてください。

②ドレンパンを開けた状態でオサエ板を曲げ起こしドレンパンに固定しているヒータを取外します。

③ヒータの配線を端子台から抜き取ります。

④ドレンパンに新しいヒータを配置し，オサエ板を押し曲げて固定します。

注．取付具合が悪いとドレンパン凍結の原因になりますのでご注意ください。



サーモスタット

サーモスタット(除霜終了－過熱防止)が故障した場合は次の方法で交換してください。

①端子箱カバーと端子箱側側板を取外します。

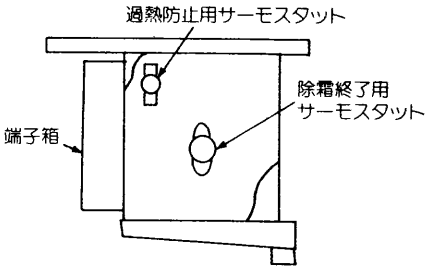
②冷却器側板・ベンドに取り付けられているサーモスタットを交換します。

なおリード線3本(赤・茶・黒)が除霜終了サーモスタットで，リード線2本が過熱防止サーモスタットです。

③端子番号を間違えないように接続してください。

除霜終了用サーモスタット　赤…7/82番端子へ
茶……81番端子へ
黒……79番端子へ

過熱防止用サーモスタット　1・84番端子へ



サーモスタット		開	閉
除霜終了用	UCL-08～1.6形 UCR-Z1・1.6形	25℃	14℃
	UCL-2・3形 UCR-Z2・3形	32℃	14℃
過熱防止用	UCL-08～1.6形	32℃	17℃
	UCL-2・3形 UCR形	42℃	22℃

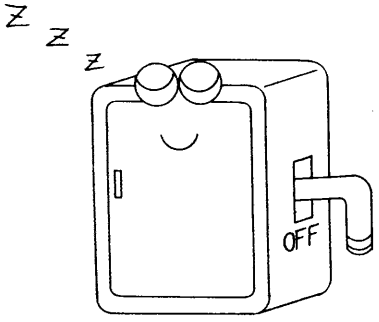
10. ようすがおかしいとき

●サービスをお申しつけの前につぎのことをお調べください。

全く運転しない

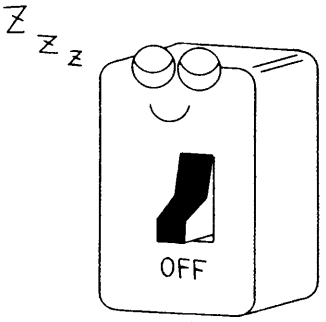
電源スイッチが切れている

完全に入っているか。
もう一度入れなおしてみてください。



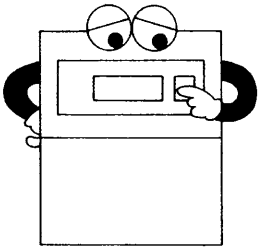
ブレーカーが切れている

完全に入っているか。
もう一度入れなおしてみてください。



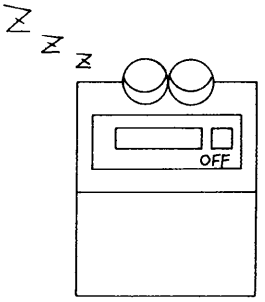
停電している

リモコンのスイッチをいったん切り，電源が復帰してから再び入れてください。



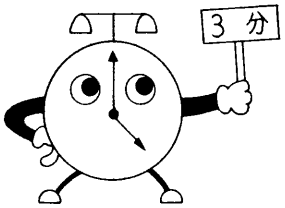
運転スイッチが切になっている。

リモコンのスイッチを「入」にしてください。



ショートサイクル停止中である

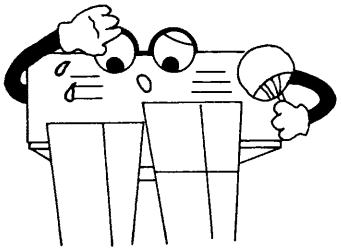
3分間待って，再度確認願います。



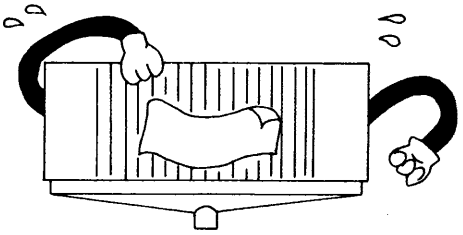
よく冷えない

風通しが悪くなっていませんか。

ユニットクーラやコンデンシンクユニットの吸込口や吹出口が商品などでふさがっていませんか。



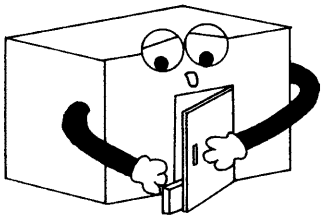
吸込口にダンボール・ビニール等のゴミが付着していませんか。



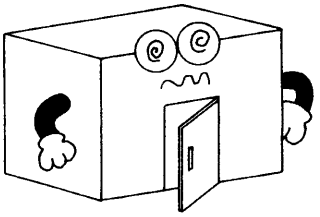
10ページのお手入れのしかたをお読みください。

扉があいていませんか。

異物などがはさまって隙間があいていませんか。

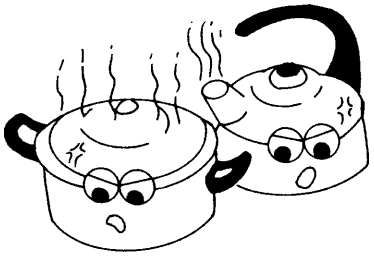


扉の開閉の回数が多くありませんか。

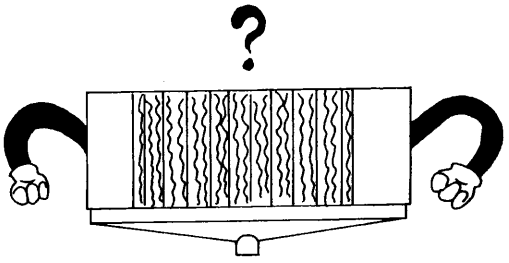


商品の温度が高すぎませんか。

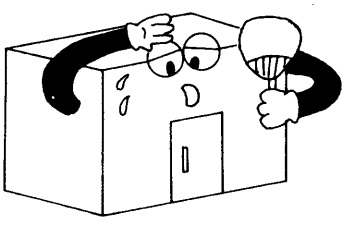
お湯，お茶などが高温状態で入っていませんか。



吸込口が霜で目詰まっていませんか。



庫内温度設定値が高くなっていませんか。

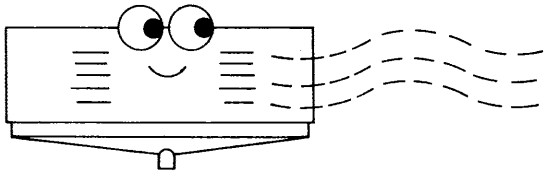


● それでも正しく運転しないときは工事店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービスへご連絡ください。

次の場合は故障ではありません

風が横に吹いている

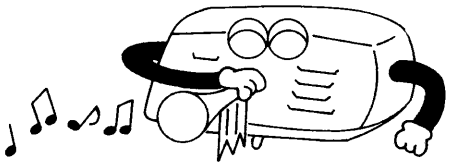
ユニットクーラへの霜の付着量が増えてきますと，冷風が横に吹いたり，羽根の回転が目視で確認出来るようになります。これは霜付が多すぎる為に起りますので，除霜時間の間隔を見直してください。



音がする

⑴冷却・除霜運転開始後と停止後に「ピシッ」と音がすることがあります。温度変化でパネルなどが膨張収縮してこすれる音ですので問題はありません。

⑵吸込口を目詰り状態で使用されますとパネル等からビビリ音が出ることがあります。これは，目詰りにより送風機へ圧力がかかったことにより起っていますので，除霜時間の間隔を見直してください。



11. 保証条件・アフターサービス

1 ■無償保証期間および範囲

無償保証期間は，据付けた当日を含め向う１年間とします。無償保証範囲は，故障した当該部品または弊社が交換を認めた部品とします。ただし下記使用法による故障の発生については，保証期間中であっても部品は有償支給となります。

2 ■保証できない範囲

(a) 機種選定，冷凍装置設計に不具合がある場合。
本取扱説明書で指定した以外の制御機器を使用したり，指示事項および注意事項を遵守せずに工事を行った場合。また冷却負荷に対し明らかに過大過小の能力を持つユニットクーラを選定し，それが起因となって故障に至ったと弊社が判断した場合。

(b) 弊社の製品仕様を無断で改造した場合，または弊社製品付属および指定の保護機器を使用せずに事故となった場合。

(c) 指定の使用庫内温度範囲を守らなかったことによる事故の場合，規定外の電圧を印加したことによる事故の場合。

(d) 化学薬品，有害ガス等の特殊条件による腐食，ガス洩れ事故の場合。

(e) 天災，火災による事故の場合。

(f) 据付工事に不具合がある場合。

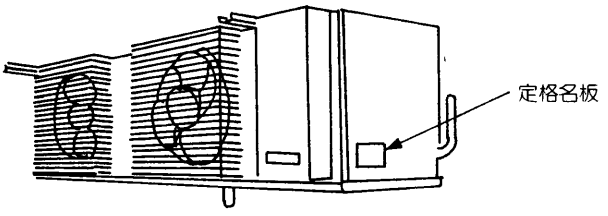
(g) その他，ユニットクーラの据付，運転，調整，保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での故障は，保証できません。<u>またいかなる場合でもユニットクーラの故障に起因した冷却物の補償，および営業補償等の２次補償はいっさいいたしませんので当社代理店等と相談の上，損害保険で対処してください。</u>

■万一異常がありましたら，ただちに運転を中止し運転スイッチを切り，お買い求めの販売店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービスへご連絡ください。

●ご連絡の場合は，つぎの３点をハッキリお示しください。

１．ユニットクーラ形名(例：UCL-08VHC形)
２．製造番号
→ 定格名板に記載してあります。

３．故障内容(できるだけくわしく)



12. 仕様

(1) 仕　様

① UCH-VN形

項目＼形名		UCH-08VNC	UCH-1VNC	UCH-1.6VNC	UCH-2VNC	UCH-3VNC
性能	冷却能力(kcal/h) 条件(TD10deg)	850/940	1400/1500	1600/1700	2200/2400	2700/2900
電源		三相 200V 50/60HZ				
送風機	運転電流(A)	0.2/0.15	0.4/0.3		0.6/0.45	0.8/0.6
	始動電流(A)	0.3/0.3	0.6/0.6		0.9/0.9	1.2/1.2
ヒータ電流(A)		—				
風量	(m³/min)	8.5/9.5	16/18.5	17/19	25.5/28.5	34/38
外形寸法	高さ×幅×奥行(mm)	314×650×390	314×810×390	314×1110×390	314×1310×390	314×1410×390
製品重量	(kg)	10	13	17	20	24

② UCL-VH形

項目＼形名		UCL-08VHC	UCL-1VHC	UCL-1.6VHC	UCL-2VHC	UCL-3VHC
性能	冷却能力(kcal/h) 条件(TD10deg)	850/940	1400/1500	1600/1700	2200/2400	2700/2900
電源		三相 200V 50/60HZ				
送風機	運転電流(A)	0.2/0.15	0.4/0.3		0.6/0.45	0.8/0.6
	始動電流(A)	0.3/0.3	0.6/0.6		0.9/0.9	1.2/1.2
ヒータ電流(A)		4.5	6.0	7.5	10.4	11.8
風量	(m³/min)	8.5/9.5	16/18.5	17/19	25.5/28.5	34/38
外形寸法	高さ×幅×奥行(mm)	314×650×390	314×810×390	314×1110×390	314×1310×390	314×1410×390
製品重量	(kg)	11	14	18	22	26

③UCR-ZVH形

項目＼形名		UCR-Z1VHC	UCR-Z1.6VHC	UCR-Z2VHC	UCR-Z3VHC
性能	冷却能力(kcal/h) 条件(TD10deg)	630/670	980/1040	1250/1330	1680/1780
電源		三相 200V 50/60HZ			
送風機	運転電流(A)	0.2/0.15	0.4/0.3		0.6/0.45
	始動電流(A)	0.3/0.3	0.6/0.6		0.9/0.9
ヒータ電流(A)		3.3	4.8	5.3	6.7
風量	(m³/min)	8.5/9.5	16/18.5	17/19	25.5/28.5
外形寸法	高さ×幅×奥行(mm)	314×650×390	314×810×390	314×1110×390	314×1310×390
製品重量	(kg)	12	15	19	23

警報システムの設置について

冷凍装置には，安全確保のため，種々の保護装置が取付られています。
万一，漏電ブレーカや保護回路が作動した場合に，警報システムや温度管理システムが十分でないと，長時間にわたり冷凍機の運転が停止したままになり，貯蔵品の損傷につながります。
適切な処置がすぐできるよう，警報装置の設置や，温度管理システムの確立を計画時点でご配慮くださるようお願いいたします。

三菱電機ビルテクノサービス株式会社

本社	東京都千代田区大手町2－2－2〈日本ビル〉	〒100	03-3279-8090……大代表
北海道支社	札幌市白石区本通20丁目南4－2	〒003	011-862-0082……代表
東北支社	仙台市青葉区大町1－1－30〈新仙台ビル〉	〒980	022-224-1222……代表
東京支社	東京都港区芝公園2－4－1〈秀和芝パークビル〉	〒105	03-5470-2805……代表
北関東支社	大宮市大門町3－197〈星野第2ビル〉	〒330	048-641-3328……代表
東関東支社	千葉市中央区栄町36－10〈住友商事ビル〉	〒260	043-225-3828……代表
横浜支社	横浜市西区みなとみらい2-2-1〈横浜ランドマークタワー14F〉	〒220-81	045-224-2052……代表
北陸支社	富山市総曲輪1－5－24〈日本生命富山ビル〉	〒930	0764-32-0048……代表
中部支社	名古屋市中区栄4－1－1〈中日ビル〉	〒460	052-263-7635……代表
大阪支社	大阪市北区梅田2－5－2〈新サンケイビル〉	〒530	06-344-1197 ……代表
中国支社	広島市中区中町7－22〈住友生命平和大通りビル〉	〒730	082-248-2897……直通
四国支社	高松市番町1－6－1〈住友生命高松ビル〉	〒760	0878-22-6063……代表
九州支社	福岡市博多区博多駅前2－1－1〈福岡朝日ビル〉	〒812	092-474-8241……代表

三菱電機株式会社

本社産業冷熱営業部	東京都港区赤坂5－2－20〈赤坂パークビル〉	〒107	03-5573-3691……直通
北海道支社冷熱住設課	札幌市中央区北二条西4－1〈北海道ビル〉	〒060-91	011-212-3735……直通
東北支社冷熱住設課	仙台市青葉区上杉1－17－7〈三菱電機・明治生命仙台ビル〉	〒980	022-216-4612……直通
新潟支社冷熱住設課	新潟市東大通2－4－10〈日本生命ビル〉	〒950	025-241-7224……直通
北関東支社冷熱住設課	大宮市大成町4－298	〒331	048-653-0251……直通
東関東支社冷熱住設課	千葉市中央区新千葉2－7－2〈大宗センタービル〉	〒260	043-241-8432……直通
神奈川支社冷熱住設課	横浜市西区みなとみらい2－2－1〈横浜ランドマークタワー〉	〒220-81	045-224-2621……直通
北陸支社冷熱住設課	金沢市広岡町3－1－1〈金沢パークビル〉	〒920	0762-33-5503……直通
中部支社冷熱住設部	名古屋市中村区名駅3－28－12〈大名古屋ビル〉	〒450	052-565-3221……直通
関西支社冷熱住設部	大阪市北区堂島2－2－2〈近鉄堂島ビル〉	〒530	06-347-2341 ……直通
中国支社冷熱住設部	広島市中区中町7－32〈日本生命ビル〉	〒730	082-248-5411……直通
四国支社冷熱住設部	高松市寿町1－1－8〈日本生命高松駅前ビル〉	〒760	0878-25-0066……直通
九州支社冷熱住設部	福岡市中央区天神2－12－1〈天神ビル〉	〒810	092-721-2190……直通

三菱電機株式会社
〒100 東京都千代田区丸の内2-2-3〈三菱電機ビル〉

WT01363X07